

日本アジサイ協会

THE JOURNAL OF THE NIPPON HYDRANGEA ASSOCIATION

第18号 2007.06.

あじさい



写真提供：谷田部園芸 谷田部元照
ピンクに綺麗に発色する凜花

CONTENTS

-
1. 紫陽花（アジサイ）の分類と栽培管理 安藤 秀夫
6. 中国種栽培あれこれ 藤井 清
11. 里山再生プロジェクト～ご当地アジサイ発掘と普及～ 静岡県立下田南高等学校南伊豆分校
15. 札幌からの手紙 北海道農業専門学校 花卉科助手 中岩 和彦
卒論 水澤 恵美
17. イベント情報 ①国際アジサイ会議開催のお知らせ ②読売新聞
18. 事務局だより

紫陽花（アジサイ）の分類と栽培管理

理事 安藤 秀夫

アジサイとは…学名を *Hydrangea* (ハイドランジア) といいます。英語名も同じで、その語源は *hydor* (水) と *angeion* (容器) を結び合わせたギリシア語起源のラテン語です。

アジサイ属の分布は、南北アメリカやアジアに約 40 種あり、そのうち日本には 25 種の自生があります。

その名のとおり水を好み、山野の沢沿いなど水の豊かなところに自生しています。

以前はユキノシタ科に分類されていましたが、近年アジサイ科として独立させてあつかうようになりました。

園芸的に栽培されているアジサイは大きく 2 つのグループに分けられます。

ひとつは日本の山野に自生し、その野生種の中から花形や色の変化を選抜して育成した園芸品種のグループです。梅雨時にしっとりと咲く、はかなげで幻想的な青紫色の花を持ちます。

もうひとつのグループは江戸末期から明治初期、シーボルトをはじめとしたプラントハンターが持ち帰った日本のアジサイの何種かがヨーロッパに紹介され、交配育種が行われ、わい性の園芸種が鉢物用として品種改良されたアジサイです。西洋アジサイといわれるこれらの里帰り品種と、これをもとに日本で品種改良したアジサイをハイドランジア (*HYDRANGEA*) と呼びます。ハイドランジアは、明るく華やかな色彩が魅力的で日本のアジサイにはあまり見られないレッドをはじめとして、ピンク、スカイブルー、パステルブルー、パープル、スノーホワイト、アイボリーホワイト、覆輪花など様々です。

花形はどちらのグループも 2 種類あり、装飾花と呼ばれる花びらのようにみえる萼片が、花の周りにだけ付く「額縁型」と全体を覆った「手鞠型」です。

「額縁型」は花が平らになるので、斜め上から見られるように、「手鞠型」は半球状になりボリュームがあるので大型に仕立てるとよいでしょう。

花は装飾花と両性花とがある。装飾花は一般に花序の周辺部につき、花は不稔性で、がく片は大型で花弁状をなす。両性花は、一般に花序の中心部につき、花は稔性、がく片は小型である。雄しべは 8 または 10 本、花柱は 2 ~ 5 本である。

□アジサイの種類

- ① ヤマアジサイ (*H. macrophylla* Ser. Subsp. *serata*)
ヤマアジサイ、マイコアジサイ、ヒメアジサイ、ベニガク、アマチャ、コアマチャなどがあり、日本に広く分布。
- ② ガクアジサイ (*H. macrophylla* f. *nomalis*)
伊豆、神奈川などに分布し、高さ2~3mになる落葉低木である。花序は額縁型で、花房は、大散花序とその周囲につける装飾花とからなる。
- ③ アジサイ (*H. macrophylla* f. *macrophylla*)
アジサイは日本全国に広く分布している。花序は手鞠型で、花房は、球状の大きな散房花序をつけ多数の花を開く。
しかし、アジサイの野生種は発見されておらず、ガクアジサイから変化したものであるといわれている。アジサイから生じた奇形種にウズアジサイがある。
- ④ 西洋アジサイ (*H. macrophylla* f. *hortensia*)
18世紀後半、日本のアジサイの何種かがヨーロッパに紹介され、交配育種が行われ、わい性の園芸種、西洋アジサイが出現し、20世紀になり、広くヨーロッパやアメリカでは鉢物用として栽培され、日本にも紹介された。
- ⑤ ノリウツギ (*H. paniculata*)
日本全体に広く分布し、2~4mの落葉低木で、花序は円錐花序である。
- ⑥ クエルキフォーリア (*H. quercifolia*)
カシワバアジサイ。北米東南部に分布するアジサイで、穂状の花序に白色の装飾花を持ちます。近年日本に移入され、八重咲きの園芸品種などが栽培されています。
- ⑦ タマアジサイ (*Hydrangea involucrate*)
日本固有種で宮城県南部から岐阜県にいたる本州中部と伊豆七島に分布します。硬い毛の生えたごわごわした葉を持ち、球状の蕾の中からこぼれるように花序を出し開花します。

この他日本にはツルアジサイ (*H. petiolaris*)、ヤハズアジサイ (*H. sikdciana*) が自生しています。

アジサイの管理


○ 年間スケジュール

	春			夏			秋			冬		
月	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
灌水		→										
施肥	→	→										
剪定(摘心)				→								
繁殖(さし木)			→									
植替え	→						→					

- 灌水
アジサイは水を好みます。蕾をつける4月下旬から10月頃は、乾燥しないように鉢なら1日2回程程度、たっぷりあげましょう。
- 施肥
芽が動き始め、盛んに成長しはじめる3月下旬から4月に有機質の緩効性の肥料を根の周りに施します。開花期~10月頃までは1000倍程度に薄めた液体肥料を15日おきぐらいにあげましょう。肥料の成分による土壌の酸度で、花色が変わることもあります。
- 剪定(摘心)
アジサイを翌年も開花させるために一番大切な作業です。花が終わる7月上旬~下旬頃に今年伸びた梢の2~3節を残して剪定(摘心)します。8月~9月にかけて伸びた新梢に花芽をつけます。花芽は10月~11月頃、最低気温が10℃以下になると、1ヵ月ほどかけて分化します。剪定の時期が遅れると、伸びた枝に花芽が分化しないので注意が必要です。
- 繁殖(さし木)
新芽が固まる5月~6月には、花芽のない不要な枝などを整理して、さし木(芽)ができるようになります。節官挿し(茎を2節で切り1節を土に挿す)と頂芽挿しがあります。さし木をした苗は約1か月で発根してきますので、挿し床から鉢上げします。
- 植替え
暖かくなり成長が盛んになる少し前3月頃が、庭に苗を植付ける、鉢植えをひとまわり大きな鉢に広げる適期です。
- 休眠期
落葉後、アジサイは休眠期に入ります。寒さのなか十分休眠し、5℃以下の低温に2ヶ月程度当たると2月頃には芽が動き始めます。寒の戻りでガクアジサイなど寒さに弱い種類は、動き始めた芽が痛んでしまうこともあります。

□ 土壌と花色

アジサイは土壌の酸度により、花色が変わります。品種の特性に合わせて鉢植えの場合は植付ける用土や肥料の配合を変え調整します。

土壌酸度	酸性	中性	中性～弱アルカリ性
pH	4～5	7	7～7.3 (7.1～8.5)
花色	ブルー・青色	紫色	ピンク・赤色
土壌	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px dashed gray; padding: 5px; width: 45%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・日本の土壌は弱酸性であることが多い ・土壌中のアルミニウムが溶けやすい </div> <div style="text-align: center; width: 10%;">  </div> <div style="border: 1px dashed gray; padding: 5px; width: 45%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ヨーロッパの土壌は中性～弱アルカリ性であることが多い ・土壌中のアルミニウムが溶けにくい </div> </div> <p style="text-align: center;">アルミニウムを吸収するとアントシアニン色素と結合し、青色を発色</p>		

☆白色はどんな土壌でも花色に変化はありません。

【用土・肥料の成分】

青系：赤玉土7 鹿沼土3

- ・ 3月～6月まで硫酸カリの1000倍液を10日/回、花後は15日/回施します。また、硫酸カリが入手できない場合は蕾がやや大きくなった頃、ミョウバンを500倍液で施すと鮮やかな青を発色します。
- ・ 肥料の成分は、植物の生育に必要な(N/窒素 P/リン K/カリウム)のうちカリウムの比率を高くします。

赤系：赤玉土6 鹿沼土3 腐葉土1

- ・ 3月～6月まで過リン酸石灰の1000倍液を10日/回、花後は15日/回施します。
- ・ 肥料の成分は、三成分(N/窒素 P/リン K/カリウム)のうち窒素とリン、特に窒素分を高くします。

参考文献

- 八木 和弘
農業技術体系 花卉編Ⅱ 25～32頁 1994年 社団法人農山漁村文化協会
- 森田 實 (園芸家)
NHK 趣味の園芸 3月号 17～25頁 ハイドラングア…花を長く楽しむ No.192
1989年 NHK 出版
- 大場 秀章
園芸植物大辞典Ⅰ 69～75頁 1994年 小学館
- 武田 幸作 東京学芸大学教授・理学博士
アジサイはなぜ七色に変わるか? 「花の色の不思議を科学する」 97～108頁
1996年 PHP 研究所
- 石井 勇義・岡田 正順
最新園芸大辞典 3号 1,139～1,142頁 1971年 誠文堂新光社

アジサイ科 中国種栽培あれこれ

副会長 藤井 清

台湾トキワ

H. chinensis Maxim.



台湾トキワは園芸店頭の名カラコンテリギのひとつ、シマコンテリギとも呼ばれている。

分布は、台湾、中国の一部にあり南西諸島の南部に自生するヤヤマコンテリギはカラコンテリギの変種とされている。温室をお持ちの方は是非一鉢用意されては如何。挿し木も簡単です。

南国育ちのこのコンテリギは冬の花として一時店頭で見かけたものだが、最近見かけなくなった。純白の大きな装飾花は見ごたえがあり、常緑の細い葉に特徴がある。冬期、10℃以上、湿度も十分でないとき越冬がむつかしく、一般家庭では購入しても枯らすことが多い。酸性土壌では生育がわるく、園芸用土か赤玉土に腐葉土混入の中性土壌が適当と思われる。



中国绣球 *Hydrangea chinensis* Maxim.
 落叶灌木；小枝、叶柄与花序初时常有伏毛，后变无毛。叶对生，纸质，狭椭圆形至矩圆形，长7—16厘米，宽2.5—4.5厘米，近全缘或上部有稀疏小锯齿，无毛或稍有微毛，叶柄长5—12毫米。伞形花序式的聚伞花序生于顶生叶间，无总花梗，有数对小分枝，略有伏毛，后变无毛；放射花或存在，若存在则具4—5枚萼瓣，萼瓣近等大或不等大，卵形至近圆形，最大的1枚长1.5—2.5厘米，沿脉有疏短毛；孕性花白色；花萼无毛，常5裂；花瓣5，离生，扩展；雄蕊10；花柱3—4，子房大半部上位。蒴果卵球形，长4毫米，约一半至四分之三突出于萼筒之上，顶端孔裂，有3—4枚宿存花柱；种子无翅，具细条纹。
 分布于台湾、福建、江西、江苏、安徽、湖南、贵州、云南、广东、广西。生于溪边或林下。

图 1938 (虎耳草科)

ブレッチナイダリー

H. bretschneideri Dippel.

日本のノリウツギに似た種類で花期が早く、ヤマアジサイと同時期に開花する。花はノリウツギのような円錐状ではなく扁平な花をつける。



1. 东陵绣球 东陵八仙花 (图226) *Hydrangea bretschneideri* Dipp.



落叶灌木，高1—3米。幼枝有短柔毛，红褐色，二年生枝栗褐色至灰褐色，皮片状剥裂。叶对生，卵形至长卵形，长5—15厘米，宽2—5厘米，先端渐尖或长渐尖，基部楔形，边缘有锯齿，上面深绿色，无毛或脉上被疏柔毛，下面密被灰色卷曲柔毛；叶柄长1—3厘米。被柔毛。伞房花序顶生，径7—15厘米，花序轴与花梗被毛；不孕花萼片4枚，广卵形，长1—1.5厘米，初白色后变为紫色；两性花白色；萼筒有疏毛，裂片5，披针形；花瓣5，长2.5毫米；雄蕊10；子房半下位，花柱3。蒴果近球形，长约3毫米，萼宿存。种子两端有翅。花期7月，果期9月。

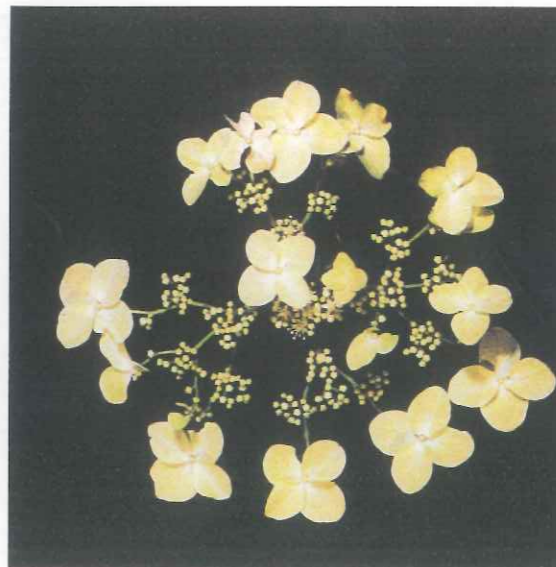
产北京妙峰山、百花山、河北小五台山、山西灵岩山、吕梁山、太岳山、中条山、内蒙古大青山、蜜汗山、河南牛山；西北、西南也有。生山地杂木林中或山沟溪边。花美丽，可栽培供园林绿化。播种、插条、分株繁殖。木材可作农具。

装飾花は白く大型で見ごたえがあり庭園樹として扱いたいものである。トウアジサイとも言われる。

ヘテロマラー

H. heteromalla D. don.

ヒマラヤ原産。ノリウツギによく似た葉をつけ、葉の裏が白く、葉柄が赤い。花は扁平でガク片は白い。ガクアジサイと同時期に開花する。この種も庭園樹に最適であり、ヨーロッパでは植栽されている。



栽培種

週間朝日百科 058 より



罗蒙常山 *Dichroa yaoshanensis* Wu

落叶亚灌木，高达1—2米，下部通常平卧，上部直立；茎、叶柄、叶、花序都有绢状长毛及伏贴、弯曲短柔毛。叶对生，椭圆形，长5—10厘米，宽2.5—5厘米，边缘有锯齿；叶柄长1—2厘米。伞房状聚伞花序顶生，直径通常2—3厘米，具多数而密集的花，无总花梗；花两性，一型，蓝色，花芽时倒卵形，盛开时直径约8毫米，无放射花；萼筒倒圆锥形，裂片5，卵状披针形，长1.5—3毫米，外面全部（包括萼筒）及内面上部都有粗毛；花瓣5，矩圆形披针形，长4—5毫米，两面有粗毛；雄蕊10—16枚，花药无毛；花柱4—5，下部有稀疏伏毛。浆果未见。分布于广西、广东与湖南。生于林下阴湿处。



图 1937 (虎耳草科)

ジョウザン

Dichroa febrifuga

中国、ヒマラヤ、スマトラ、ジャワ島にかけて分布する。アジサイ属ではないが、アジサイ科の一員である。

果実は球形の液果で熟すると青紫色となる。葉は照り葉で日陰を好む。

花は脱落しやすいので、果実はできにくい。



アスペラ

H. aspera D. don.

ヒマラヤアマチャノキともいわれていた。ヒマラヤから中国雲南地方が原産。日本のタマジサイに似ているが高木になり、葉はタマジサイより厚く、毛が長い。花は両性花がピンク色で美しく、日陰を好む。



サルゲンチアナ

H. sargentiana Rehd

葉は最も毛深い種類で大きい、日陰を好み、乾燥すると葉が痛む。両性花は薄紫色、ガク片は白い。日陰の観葉植物に最適。中国原産。



ウイローザ

H. villosa Rehd

樹形は傘状になりやすく、葉には毛があり茶色く見える。装飾花はピンク色で美しい。中国原産。



ストリゴーザ

H. strigosa Rehd

中国西南部原産。高木になる。葉には固い毛があり全体に白く見えることがある。花期はこの種類では最も遅く八月の後半になる。



下2枚の写真は実生4年目のストリゴーザの開花。元の花とは少し違いい大柄になる。蕾の付き方も変わる。葉は細く、毛のために白く見える。



腊莲绣球 羊耳菜树、土常山
Hydrangea strigosa Rehd.

落叶灌木，高2—3米；幼枝有伏毛。叶对生，卵状披针形至矩圆形，长8—25厘米或更长，宽3—7厘米，边缘有小锯齿，齿端有硬尖，上面疏生伏毛或近无毛，下面全部或仅脉上有粗伏毛；叶柄长1.5—3.5厘米。伞房状聚伞花序顶生，花序轴和花梗有毛；花二型；放射花具4枚萼瓣，萼瓣宽卵形，全缘或具疏齿，长1—2厘米，背面多少有毛；两性花白色，萼筒略有毛，裂片5，三角形；花瓣扩展或连合成冠盖；雄蕊10；花柱2，子房下位。蒴果半球形，宽3毫米，除宿存花柱外，全部藏于萼筒内，顶端孔裂；种子宽扁圆形，两端突然收缩成短翅。

分布于长江以南诸省区。生于林下。药用有清热解毒之效。近亲种柔毛绣球 *H. villosa* Rehd. 产西南，不同点在于叶背面被松软、交错的长柔毛。

中国科学院の職員の話によると葉の毛深い種類のタマジサイ亜節は変異種が多く、ストリゴーザでも丸葉の種もあるということだ。

カワカミ

H.kawakamii Hayata

一名タイワンゴトウヅルという。台湾の阿里山で発見される。

成長力旺盛ということでツル性になるということだが、環境によるものか栽培ではその傾向がない。

現物の入手は困難でも種子は入手することができる。日本の気候にあい、土壌になじませるには実生栽培による方法があり難題の植物でも成功率は高い。



左の写真は実生4年目のカワカミ
大型になり、花付きもよい。
株元は日陰になっているが、梢はよく日が当たり
元気で開花する。

ストリゴサの植栽実験。元来日陰の植物だが、日射に耐えられるかの実験を試みた。現地は苗圃(びょうほ)、日照時間も長く心配であったが、実生2年の苗を植えた。3年目は十二輪の開花があったが、4年目には枝先全部に開花した。(2003) 土壌は花崗岩質、植えつけ当初は土の表面をマルチング、土壌の温度上昇を防ぐ、無肥料栽培、日射によって枝の伸長が抑えられ、枝の分岐がよくなった。やや地下の水流があったのが幸いした。



里山再生プロジェクト～ご当地アジサイの発掘と普及～

静岡県立下田南高等学校南伊豆分校

園芸科 3年 宮田 葉月

園芸科 3年 槇野 暁菜

園芸科 3年 楠 稔彦

園芸科 3年 仲尾健太郎

園芸科 2年 高橋 優

園芸科 2年 星 光子



はじめに

近年グリーンツーリズムという言葉が注目を集めている。都市の住民が緑豊かな農村地域に滞在し、自然や農作業体験などを楽しむグリーンツーリズムが、農業、農村の理解を促進するとともに、農村の地域活性化策として重要である。

目的

地域住民と協力して走雲峡里山再生を目指すとともに、その環境を活かした地域の活性化を目指すためプロジェクトを立ち上げた。

プロジェクト計画

【平成16年度からの3年計画】

平成16年度 里山環境整備

平成17年度 里山環境整備活動の輪を広げる

平成18年度 里山環境の有効活用

農業クラブでのプロジェクト報告

平成16年度【地域密着エコプロジェクト】農ク県大会（優秀賞）

平成17年度【里山づくりプロジェクト】農ク県大会（最優秀賞）

平成18年度【里山再生プロジェクト】農ク関東地区大会（優秀賞）

平成16年度プロジェクト

目的「里山の環境整備」

山アジサイの管理作業

平成17年度プロジェクト

目的「里山環境整備活動の輪を広げる」

走雲峡ボランティア活動を募集。

全生徒の約4割である合計38名（1年生18名、2年生12名、3年生8名）が参加

① 環境整備（毎月第3日曜日）実施

地域の人たちとボランティアの輪を広げることができた。



平成18年度プロジェクト

目的「里山環境の有効活用」

I 里山環境基本調査

① わき水の水質調査【平成18年4月26日（水）～6月22日（木）】

わき水を採取して7項目を調査した。

雨の後にデータ変化が大きく、山の保水力が十分ではないと考えられた。

② 植物自生調査【平成18年4月16日（日）】

走雲峡・里山づくりネットワークの代表（池野氏）に同行してもらい、里山周辺の調査実施。珍しい山アジサイをはじめとしてアマチャヅルやヤブツバキなども発見。

II 「ご当地アジサイ」の発掘

「ご当地アジサイ」として新品種の登録ができれば、地域の活性化へつなげたい。



① アジサイ分布調査【平成18年6月26日（月）～6月30日（金）・7月15日（土）】

里山に存在する200個体について次の特徴を調査してデータにまとめた。

- ・ 中性花について（花卉の枚数 花の形 花の色）
- ・ 両性花について（花の色）
- ・ 葉について（形状）
- ・ 株について（樹勢の強弱 その他）

② ご当地アジサイの候補の選出

A-43・A-45・B-50の3個体が美しくかつ珍しいため「ご当地アジサイ候補」とした。

☆A-43について☆

I	花卉の枚数	4
II	花の形	丸
III	花の色	薄P(薄紫)
IV	葉の色	B(青)
V	葉の形状	細
VI	樹勢の強弱	強
VII	その他	

☆A-45について☆

I	花卉の枚数	4
II	花の形	2(A9の)
III	花の色	W(白)
IV	葉の色	W(白)
V	葉の形状	細
VI	樹勢の強弱	強
VII	その他	

☆B-50について☆

I	花卉の枚数	4
II	花の形	丸
III	花の色	B(青)
IV	葉の色	B(青)
V	葉の形状	細
VI	樹勢の強弱	中
VII	その他	

Ⅲ 「ご当地アジサイ」の増殖

挿し木で増殖（繁殖試験）



Ⅳ 「ご当地アジサイ」普及活動

「ご当地アジサイ園」を校内に作成。

レンガを組んで3品種を植栽（将来を見据えて南伊豆幼稚園の園児を招待して一緒に植栽）3品種をPRした。【平成18年10月31日（火）】

園児と分校生で将来、アジサイの花が咲く楽しみを共有。

地元園児の「ご当地アジサイ」に関する興味・関心を高めた。



平成18年11月1日
伊豆新聞



「ご当地アジサイ」を増殖すると同時に、そのPR活動を行うことで、南伊豆の里山から生まれた名物として活用できるよう活動している。

札幌からの手紙

北海道農業専門学校 花卉科助手 中岩和彦

卒論 水澤恵美



「アジサイって、梅雨の花じゃなかったの？」

札幌で暮らし始めた最初の年、私は良くこの言葉を口にしたものです。いつも通る道端に、六月の終わり頃からポツポツ咲き始めた紫陽花が、七月に満開となりながらも十月末まで所々思い出した様に花を残す姿に驚きつつ、強く心惹かれて行った事を覚えています。

それから、気の向くまま数冊の本を手に取り頁を繰る内にヤマアジサイと言う存在に出会い、その裏側に、失ってはならない大切な日本の一面を垣間見た思いがしたのです。

それが、ほぼ二十年前の事。

現在私は、専門学校で若い学生達に草花の栽培を教えています。

そしてそれらとは別に、学生達へ日本のアジサイ達が持つ多様性と魅力を少しでも届けたいという夢を、常に抱き続けていました。例えば校内の一面にヤマアジサイの花壇を造り、多くの学生達に観て触れてもらい、またその事で少しでも興味を持ってもらえたら良いと。それに、各地から札幌にやってきたヤマアジサイ達が、どんな変化を見せてくれるのか、はたまた全く変化しないのか。

ところが、そんな夢が、急に進展したのは一昨年でした。

校舎裏のツツジ林が一気に移され、空いたスペースに何か植えるものは無いかとの話が来て、とんとん拍子に実現に向かったのです。

嬉しかった事はそれだけでは有りません。学生達が興味を持ってきて、更にその中の一人は、卒業論文のテーマに「アジサイ」を選んでくれたのです。本人の承諾を得ましたので、ここに少し、その卒論から手短に一部抜粋します。

.....
私が本校に入学した時は、草花一般を広く学ぼうと、ただ何となく流されていただけでした。そして闇雲に色々な学習をこなしていただけだった気がします。

そんな中で出会ったアジサイの実習はとて新鮮でした。今まで何となく知っていたはずのアジサイが、本当の言葉で私に語りかけて来てくれているようでした。それから、実習の合間に先生が教えてくださった「シーボルトとオタクサ」の物語は、私の一生を大きく左右するものでした。

私の人生の大きな分岐点で、こんなにも素敵な日本のアジサイ達に出会えた事に感謝しつつ。

そして少しでも多く、アジサイの魅力が伝わりますように。

(序文より)

(略)

オランダでは、アジサイの栽培はバラやカーネーションに比べ低コストと言う事で、生産者を増やす要因となっている。また、オランダの生産者が来日したときに、次のような意見を述べている。

「アジサイは元々日本の植物なのだから、もっと日本はアジサイを大切に考えるべきだと思います。どうにか夏の高温度を回避できれば、より切花利用としての場面や可能性が広がっていくはずですよ。」と。

幸い北海道の夏は、本州に比較して湿度が低い。そこで今回は単純にホンアジサイを用いての切花延命実験に着手してみた。

実験方法は、「①燃焼法 ②市販の延命剤 ③水切り」以上の三通りで、一度も水を取り替えずにどれくらいの期間花が持つのかを観察した。(略)

結果は平均で、燃焼法が十四日間、水切りが三十日間、延命剤が三十七日間となった。正直言って、アジサイの切花がこれほどの長期間持続するとは予想していなかった。この結果は、北海道の涼やかな気候が影響しているのだろうか、またはアジサイの切花そのものが持っている生命力によるものだろうか。引き続きデータの収集を行っていただきたいと切望する事の一つである。

(切花延命実験の章より)

.....

若い世代がアジサイの興味を抱いてくれた事が、何より嬉しい出来事でした。卒業後も「温室の土佐緑風は、蕾を付けましたか?」とか「露地のクレナイは、雪で折れませんでしたか?」とかメールをくれる教え子達に、今のアジサイの様子を伝えられる嬉しさ。

そして、今朝。

昨年学生と小さな苗を定植した校舎裏の、あの小さな小さなアジサイ園を覆っていた最後の雪が、ようやく消えました。土の泥濘が無くなったなら、「初めての札幌の冬はどうだった?」と、少し遅くなったであろうヤマアジサイの苗達に尋ねて回るつもりです。

さて、今年はそのからどんな物語が生まれて来ますやら。

2007年4月10日 記



イベント情報

国際アジサイ会議開催のお知らせ

2007年8月16-19日に、ベルギーのアントワープ大学植物園において、国際アジサイ会議(ベルギーアジサイ協会とアントワープ大学植物園の共催)が開催されます。この会議の目的は、様々な国のアジサイ愛好家、育種家、研究者などが情報交換を行うことです。世界各地のアジサイの愛好家、栽培家、育種家、研究者を対象に、様々な講演会やワークショップ、新品種の展示が行われ、また会議の初日と最終日には見学ツアー(ベルギーアジサイ協会のアジサイコレクション見学ツアー、マレー氏(Corinne en Robert Mallet氏)のアジサイコレクション見学ツアー)があります。

国際アジサイ会議の詳細や参加のお申し込み方法については、国際アジサイ会議のホームページ(http://www.hydrangea2007.be/nieuws/info_jp.html)をご覧ください。

読売新聞

読売新聞大阪本社 インターネット YOMIURI ONLINE 「関西発」

「近畿のアジサイガイド」

<http://osaka.yomiuri.co.jp/ajisai/index.htm>

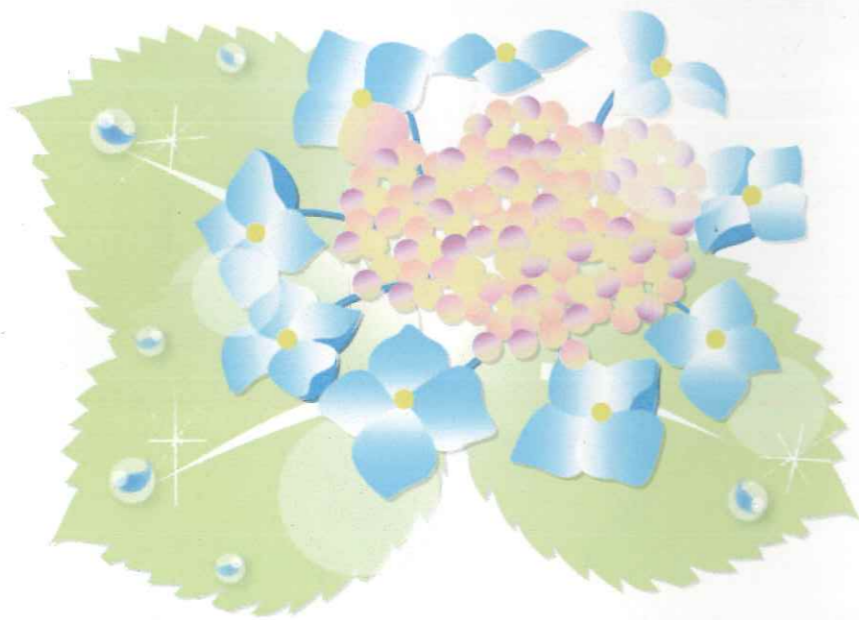
でアジサイの画像投稿を募集中です。

携帯電話で撮った写真をメールで投稿

<http://osaka.yomiuri.co.jp/sakura/mite/index.htm>

事務局だより

- 神奈川県立平塚農業高校でアジサイ先生で名をはせた安藤秀夫理事が栽培の秘訣を公開してくれました。アジサイ栽培上での当協会への問合せも多く、意外と詳しい栽培法が掲載されたものは少ないものです。
 - 昨年の南伊豆温泉での協会総会にオブザーバー出席をした下田南高等学校南伊豆分校の皆様が日頃の活動の様子を寄稿して下さいました。再度南伊豆を訪ねたいと思っていられる方も多いのでは。
 - 北海道農業専門学校の中岩和彦先生と水澤恵美さんより卒論の一部が寄稿されました。全てを掲載できなかったのが残念ですが、北海道のアジサイ栽培を実感ください。
 - ベルギーアジサイ協会からアジサイ国際会議の開催案内がありました。有志で参加の予定があるようです。
 - 今年の総会は前に葉書でご案内しましたとおり、6月21日 PM1:00~2:30
JR岐阜駅を観光バスで9時半出発です。
岐阜県山県市富永の三光寺で開催されます。少し交通が不便ですが是非参加下さい。
- ・次号以降に掲載する原稿を募集しております。原稿は、できれば CD-R・フロッピーディスクでお送り下さると幸いです。





左上 スターマイン ブルー、下 ピンク
右上 可憐 ピンク、下 ブルー

墨田の花火を親に和風的な紫陽花を目指し
交配を繰り返し平成14年作出する装飾花か
ら装飾花が出やすい 谷田部元照

第18号 あじさい

2007年6月発行

発行 日本アジサイ協会

事務局 〒173-0037 東京都板橋区小茂根5-3-11 杉本誉晃 方

日本アジサイ協会事務局

TEL 03-3956-8423 FAX 03-3530-7707

ホームページ

<http://www9.ocn.ne.jp/~ajisai/>